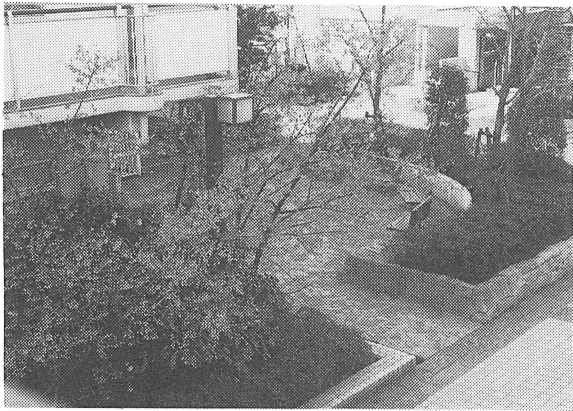




ゆり北

第59号 (6期第12号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(938)9181番

発行責任者 吉柳俊孝

自治会総会は

四月二十三日

第七回ゆりの木北自治会総会を、

開きます。この六年間で私達の周りも大きく変わってきています。建物もいつまでも奇麗なわけでなく、補修を要するところが目立ちはじめました。駐車場・駐輪場の不足は深刻で団地内での解決も、せまられています。また賃貸では、傾斜家賃期間がおわり、公団の三年ごとの家賃見直し問題が間近な問題となって来ました。消費税問題も影響大です。

今までの活動方針は「総花的」との反省から重点を絞った方針にしたと思います。

また、昨年末からの加入運動の結果五十世帯を超える入会があり、加入率も八割に手がとどくようになりました。いろいろなニードに應えるためには、子供中心との声も聞こえる自治会行事を、層の厚い事業にしたいと思っています。

二月六日(月)午後二時より赤塚庁舎会議室で、区長を囲む懇談会が行われました。区側からは、区長を始め各部長、教育委員会事務局、出張所長等多数出席されました。

この懇談会は、区行政の諸問題を地域的にとらえて、施策の参考にするものだそうで、町会・自治会・PTA等のかかえている問題について質問があいづぎました。

ゆり北自治会からは、中学校の予定地の問題、中学校の建設、これから建てられる練馬区の施設を使用できるのか等の質問がありました。区長の回答としては、中学校敷地に

たいと思います。

総会にあなたの声をお寄せ下さい。なお、役員選挙が次の日程(予定)で行われます。

四月九日(日)告示、十五日(土)立候補〆切、二十二日(土)不在者投票、二十三日(日)投票です。定数内の時は信任投票になります。

自治会活動をつうじて、生活の土台である、コミュニケーションに参加しませんか、自薦・他薦大歓迎。

日時 四月二十三日(日)

午後一時より

会場 赤塚新町小学校・体育館

報告 活動報告・決算報告・

監査報告

議題 活動方針・規約改正・

予算・役員改選

区長を囲む懇談会

早急(二、三年中)に中学校を建設する考えはない。また公団は学校以外の施設を作るのでは区に売らないので公共施設を建てることはできないとの考えでした。

練馬区の施設使用については、区側からも使用できるよう申し入れてほしいと要望した。また新町小学校のPTAの方からの質問でも赤塚第三中学校が手ぜまなら、早く中学校予定地に建設してとの要望があったが、やはり区、都、国、との関係で早急には無理との回答、しかし区でも中学校建設に努力しているとの事でした。

光が丘住民組織連絡協議会・自治会部会が三月十二日(日)、コロシアム第一で行われました。

八団体が参加して、各自自治会を取り組んでいること、悩みを話し合いました。

駐車場・自転車置き場の問題では、確信犯的に不法駐車する住民の問題、自転車の放置・かたづけの取り組み、二台目の自転車から五百円のシール代を徴収する団地もありました。

夜警では、最初は「うるさい」と怒鳴られた事もあったが、ほとんどの団地で実施されています。ペンキのいたずら書き、

光が丘清掃工場

二炉運転

光が丘清掃工場の二炉運転にとまなう説明会と工場見学が、一月二十一日(土)に、光連協の主催で行われました。

練馬清掃工場の二年半にわたる大改修の為に、今まで練馬工場で処理していたゴミを光が丘清掃工場が行うことになり、現在一炉運転の所、二炉運転する為に、一日当りのゴミの処理量は今までの二倍になります(二百五十トンが三百トンになる)。

排ガス調査の結果、基準はクリアされているとの事であるが、周辺の車の進行量や騒音、またにおいなど、種々の問題があり、工場側からの説明もあったが、質問時間も少なかった為に納得のいかない部分もあり、あらためて光連協で、協議し要望書を工場側にだすことになりました。その後工場見学、コントロールされた機械室には、数人の職員だけ、現代の工場でした。

悩みはいろいろ — 光連協自治会部会 —

B B弾による蛍光灯・ガラス扉・自動車の被害が報告されています。

行事では、三丁目の「夏の雲公園夏まつり」、公園南の「納涼会・花火大会」「もちつき・クリスマス会」、コロシアム第二の「マザー牧場バスハイク」など盛んです。なかでもコロシアムハイム第一の「ジャンボ海苔巻」は、昨年の五mから今年は七mに記録を伸ばしギネス入りを狙うとか。

このほか、役員の選出方法・任期についても意見の交換を行いました。

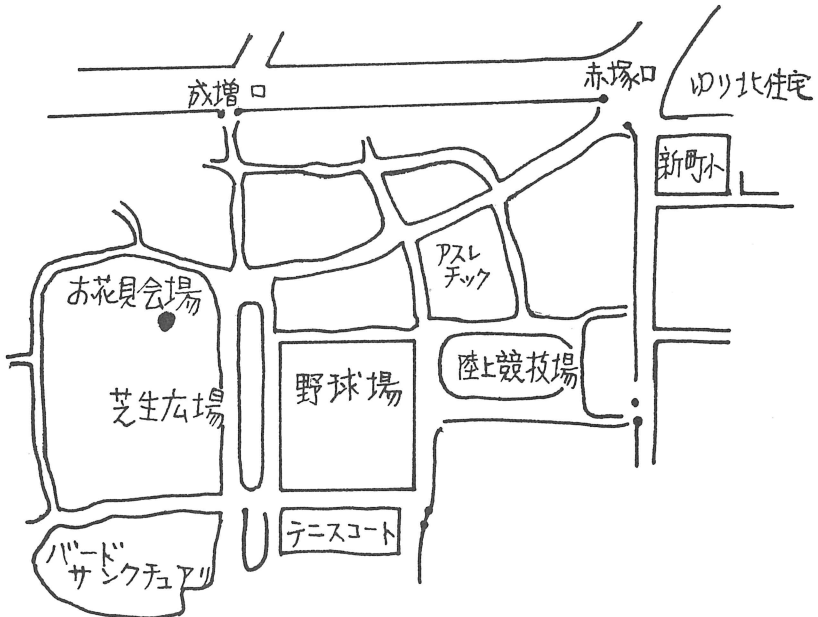
補修の窓口

営業所交渉のなかで、緊急補修の窓口を確認しました。通常は、むつみ台団地一号楼の管理事務所TEL(九三八)〇三五五に補修伝票を出して行きます。また団地サービス光が丘出張所TEL(九七六)三九六六も受けています。「水もれ」については夜間でも対応します。夜間窓口はTEL(九三八)五三二五。また、補修にあたって、自己負担・公団負担があります。区分のリストは入居時の「契約」に記載されていますが、自治会では、公団負担の範囲を広げる様に要請しています。トラブルがあったときには、役員にご相談下さい。

お花見にあいで下さい!!

4月2日(日)
午前11時より

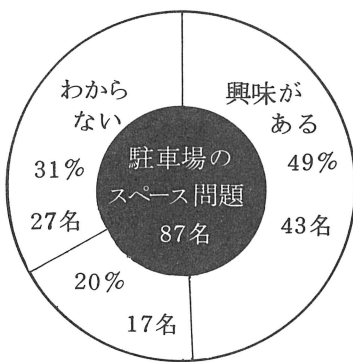
芝生広場・中央付近



「ゆり北」新聞討論 (その二)

「ゆり北」一月号より新聞討論を開始し、今回は二月号の意見に対する討論を展開してもらいました。投稿者は十九名増え、全体で八十七名となりました。

駐車場のスペース問題



Kさん B・Eさんに賛成です。他の団地では、立体駐車場やパーキングスペースばかり目につき、とても小さい子供がのびのび遊べる感じではありませんでした。その点、当団地は安全だと思います。しかし来客

用駐車スペースを多少確保されるべきだと思います。民間のマンションには、管理事務所へ駐車券をもらいに行く駐車できるシステムがあり、そのスペースも確保してあります。これが民間と公団の差かなとも思いますが、

Mさん Iさんに反対、住環境の大切さには同意ですが、車がこれだけ一般化している現在、車を持つていない人を無視した大団地は、路上駐車等の問題を起すだけだと思います。当面、周辺の空地、民間駐車場の借り上げ等により、路上駐車、駐車場探しのゴタゴタをなくし、抜本的解決は、時間をかけて検討すべきだと思います。

Nさん H・Iさんに賛成です。車を持つていっているものとしては、二年に一度の抽選は、明暗を分けます。スペースは、もう少し増やしてほしいものです。反面、大気汚染の問題より車をこれ以上増やしては「十年後は健康に生活しているかな？」という不安も感じます。

Oさん Hさんに賛成です。現在住民が保有している車に対して、駐車場の足りないのは確かだと思います。これはこの団地の設計時点の問題だと思います。すぐに立体駐車場とか地下駐車場を作るべきです。もし物理的に不可能な場合には、別の場所に駐車場を作るとか民間駐車場の確保が必要であると考えます。

Lさん B・Cさんに賛成です。自治会とは町会と同じ組織で、いざという時に、お互いに助け合うことだと思います。全員が入会することが望ましいが、差別は良くないと思います。強制ではなく進んで入会したくなるような魅力のある自治会になっていけば会員は自然に増えると思います。

シリーズ バードウォッチング

公園にいるよ② イワツバメ

ねりま自然のなかま 田中 勝子

春風につけてツバメが飛んでくると季節は急に初夏にかわります。光が丘公園では、ツバメの初認日は四月五日前後です。ところで、今日お話しするのはイワツバメのことです。

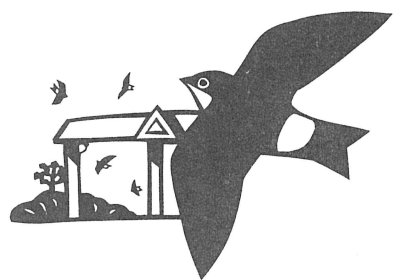
光が丘公園の芝生の広場の西にある休憩舎の白い天井を見上げたことがあります。土塊が天井の壁の角にへばりついていて、花瓶を横にした形で小さな入口があります。

イワツバメの巣です。

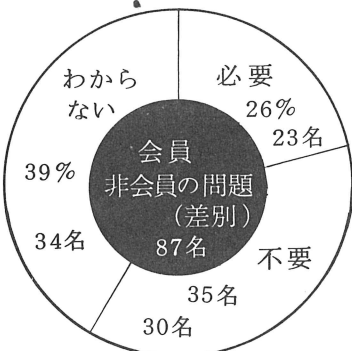
集団営巣の習性があり、ここは十三個が完成しましたが、つく

りかけで終わったのも、壊れているものもあります。その理由は二つ。ひとつはイワツバメの集団が若い個体であったために、巣づくりがへただったこと。ふたつめは、いたずらつ子が休憩舎で火花を打ち上げたり、巣に石を投げたために、卵の入ったまま落ちてしまったり、ヒナごと落とされてしまったからなのです。

光が丘公園は新しい公園ですから親鳥のなわばりを追われた若鳥が住みつく場所になります。六十三年六月に七十羽で飛来し、始めて営巣したイワツバメはどんなに驚いたことでしょう。それにしても、イワツバ



会員・非会員の問題



Kさん Aさんに反対です。自治会員であろがなろうが団地の住民なのです。その住民達が住み良い町にする為に、皆で協力できる場として自治会があるのだと思います。

Lさん B・Cさんに賛成です。自治会とは町会と同じ組織で、いざという時に、お互いに助け合うことだと思います。全員が入会することが望ましいが、差別は良くないと思います。強制ではなく進んで入会したくなるような魅力のある自治会になっていけば会員は自然に増えると思います。

Oさん Eさんに賛成です。差別ではなく区別は必要です。私には自治会が何をやっているのか良くわかりません。もっとPRをすべきです。私は今のところ入会をするメリットを感じないので、入会しようとは思いません。

Mさん G・Hさんに賛成です。お金を払っていないのだから、メリットを受ける必要がないと考えるのは大人げないと思います。ほぼ強制的に会費を取られ、入会しない人は、変人扱いされるようになってほしくありません。役員の努力している姿を見て、会員が増えることを期待します。

サッカーのこと

むろ ゆうすけ

ぼくたちは、毎しゅう日曜日九時〜十一時半ぐらいまで新町小学校の校庭でサッカーのれんしゅうをしています。

ドリブルやシュートれんしゅうやれんしゅうあいをしています。ぼくは、休みじかんともちとけりあいをしています。ぼくは、あいにけつていっているつもりがへんなどころにいつてしまうことが多いです。でもときどきうまくいきます。

ぼくは、あまりキーパーをやらないので、へたです。ぼくの場合すぐいれられてしまいます。でもゴロだととれます。ぼくは、サッカーで一番すきなのは、しあいです。なぜかというとたくさんけることができるからです。でも、ドリブルしているときとられたり、シュートされそうになります。「くそっ」と思ってボールをとりかえそうとがんばります。ぼくは、サッカーにいくときわくわくします。

布を断つ前に

七回たしかめよ

五号棟 星名正雄

ソ連の諺と言う。これは仲々意味深長です。日本では「覆水盆に還らず」「後悔は先に立たず」また「転ばぬ先の杖」などと戒める諺の数々があるようです。生きてゆく過程のなかでいや応なしにあれこれ問題に突き当たります。狙いは何時も如何なる問題に対処する場合にも常にその心掛けは大事でしょう。一枚の紙は表と裏とで成り立っているように人間にも表の顔と裏の顔がありましよう。表の甘い言葉につられて裏の心を見抜けないために、ともすれば魔手に泣きし事例をテレビに又新聞紙

上にて知ることが屢々ですが、事に当たっては一步下って新しい別の角度から対象の正体を見抜く眼識が欲しかったと思われます。複雑な世相のなかにあつて前に述べました諸々の諺を心に留めて頂ければと思われます。私も今までに色々の場面に遭遇した体験からせめて皆様方の安全とお幸せを願ひまして一言申し上げました。

ゲートボールで

和をひろげましょう

ゆりの木会会長 水原三喜藏
今やゲートボールは国内ばかりでなく外国でも盛んに行われております。

これは大人の方ばかりでなく老若男女のすべての方々にも簡単に覚えやすく健康的で興味のある競技であるからでしょう。練習中でもとても楽しく皆さんと共に親睦と和を広げるのには最適であると思っております。幸いにも三月中旬に赤塚新町公園内にゲートボール場が出来ると予定になっております。これが完成の暁には毎日でも練習をする事が出来ます。用具は我が会で一式揃えてありますのでゆり北の皆様のご参加を楽しみに致して居ります。

編集後記

月日が経つのはまことに早いもので、第六期も本号で終了することになります。皆様方には絶大なる御協力を頂き広報部一同より感謝の意を表します。また来期も引き続きよろしく願ひします。さて今期を多少顧みますと、広報部としては年間活動方針を忠実に実行に移し、かつ皆様と紙面を使って討論する新聞討論を始めました。来期も今期と同様に年間計画の実行及び新企画の展開を計ろうと考えています。